

最優秀賞は田辺聖子賞のページ

(18ページ)に掲載しています。

【優秀賞】

聴こえる一線先の青

原澤 日々希 (鹿児島県 鹿児島女子高等学校 2年生)

母には友達と遊ぶと嘘をついて、中央駅から一人で目的地を決めず電車に乗った。ずっとやってみたかったことだ。いつもつけている腕時計をせず、いつも持ち歩くスマホも持たず、普段気にかけているモノをできるだけ切り離れたかった。電車の中の顔はどれも見覚えがなくて、だから誰も私を知らないはずで、少しわくわくした。

電車の中では特に何かが起こるわけでもなく、最初は一瞬で通り過ぎる景色を見ていたいと思っただけのまにかそれも忘れて何かをずっと、考えていた。

どの駅で降りよう、帰れなくなったらどうしよう、駅の人に聞けばいいか、降りたらどこへ行こう、暑いのは嫌だから室内がいいな、でもお金使いたくないから店には入らなくていい、やっぱり日傘持ってくるべきだったな、スマホも持ってたほうがよかったかもな、今何時だ、あの人ヴェイトンのバック持っどこ行くんだらう、昨日蚊に刺されたところがかゆい、海だ。人少ないな、

そんなにきれいなじゃないしな、でも遠くからならちゃんときれいに見える、なんでみんな海に行きたがるんだらう、最後に行ったのいつだらう、夏休み終わるの嫌だな、時間がとまればいいのに、あーかゆいな。

以前、私の好きな芸人さんが書いたエッセイ本を読んだ。その人は人見知りで自意識過剰でネガティブで、それらが日常生活や仕事に絡まり影響していく様子などが書かれていた。共感したし、感動したし、笑った。そこらへんのエッセイやポエムなんかより正直で、綺麗事や正論を並べられるよりずっと優しいと思っただ。その本に、頭で色々と考えていても行動しなければ外から見れば何もしていない人と同じだというようなことが書かれていた。それ私だなと思った。小さい頃から考え過ぎだよとよく言われる。布団の中に入ってから、なかなか寝られずずっと考え事をして気付いたら朝だったなんてことも珍しくない。楽しみなことへの期待は控え目にする。期待外れになるのが嫌だからだ。逆に、不安なことに対しては最悪の場合まで考える。嫌なことがあったときに焦りたくないからだ。色々なことを考える。良いことも悪いことも。でも、それを伝えない。誰かにわかるように示すことがあまりない。はたから見たら何もしていない人だ。

小三から中一くらいまで、ずっと漫画家になるのが夢だった。自分の頭の中で生まれる物語を誰かに見ってもらいたかった。小四くらいまでは自分の描いた漫画を休み時間に友達に見せていた。私の机を囲んだ四、五人の友達が自分の描いた漫画を回し読みしている時間はどきどきするけど好きだった。漫画家はもういいけど、自分の作ったもので自分の考えていること感じていることを誰かに伝えられる職業に就きたい。まだ何かはわからないけど、

もうそろそろ降りようかな。頭の中では、ブルーハーツの「1000

のバイオリン」が流れる。

ヒマラヤほどの消しゴムひとつ

楽しい事をたくさんしたい

ミサイルほどのペンを片手に

おもしろい事をたくさんしたい

夜の扉を開けて行こう

支配者達はイビキをかいてる

何度でも夏の匂いを嗅ごう

危ない橋を渡って来たんだ

夜の金綱をくぐり抜け

今しか見る事が出来ないものや

ハックルベリーに会いに行く

台無しにした昨日は帳消しだ。

電車をやっと、降りて知らない駅の空気を吸った。

と、いうのは嘘で私は一人旅なんかせずにクーラーの効いたリビングで黙々と作文を書いている。夏休みやりたいことがたくさんあった。一人で旅に出たい、髪型を左右非対称にしたい、エレキギターをもっと弾けるようになりたい、クラゲを飼いたい、きれいなワンピースを作りたい。他にも、もっともっと。どれも実現できてない。「1000のバイオリン」を聞くと、何か新しいことをしたくなる。そして、やりたいことをいつまでもできずにいることに焦りを感じる。言いたいことを言えずにいる人は、やりたいこともできないままなんじゃないかと思いはじめ。私の言いたいことって何だろう。やりたいことって何だろう。見失いそうで怖い。大人になった私が今の私を後悔しそうな気がしてならない。登校中、大きな音をたててスピードをだして通り過ぎるバイクを何度か見かけた。同じ歳くらいの子が乗っていて、いつもいいなと

思う。私なんかよりも真っ当に生きてるんじゃないかと。私が越えられない何かを越え、ぶつかっていけるんだらうと。どっちが正しいんだらう。正しいって何だろう。正しいとか、いらぬいな。正しいより楽しいが欲しい。

どうか、やりたいことをやれる大人になっていきますように。

「1000のバイオリン」を聞いても焦ることがなくなりますように。

ヒマラヤほどの消しゴムひとつ

楽しい事をたくさんしたい。

やっぱり夏休み中に一人旅、やってみようかな。

引用：「1000のバイオリン」(真島昌利作詞)より

※ J A S R A C 出 1 8 0 1 2 9 0 5 9 1 0 1